



# 『Interfaces Configuration Guide』

この前書きは、次の項で構成されています。

- ・インターフェイスについて (1 ページ)

## インターフェイスについて

Cisco NX-OS は、サポート対象の各インターフェイスタイプの複数の設定パラメータをサポートします。ほとんどのパラメータはこのマニュアルで説明しますが、一部は他のマニュアルで説明します。

## イーサネットインターフェイス

イーサネットインターフェイスには、ルーテッドポートが含まれます。

Cisco Nexus® 3550-T スイッチには、次の注意事項と制限事項があります。

- ・同じクラウド内では混合速度はサポートされません。

## アクセスポート

アクセスポートは1つのVLANのトライフィックを送受信します。このポートのタイプはレイヤ2インターフェイスだけです。

アクセスポートの詳細については、「アクセスインターフェイスとトランクインターフェイスについて」の項を参照してください。

## ルーテッドポート

ルーテッドポートは、IPトライフィックを他のデバイスにルーティングできる物理ポートです。ルーテッドポートはレイヤ3インターフェイスだけです。

ルーテッドポートの詳細については、「ルーテッドインターフェイス」のセクションを参照してください。

## 管理インターフェイス

管理イーサネットインターフェイスを使用して、Telnetクライアント、簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)、その他の管理エージェントを使用するリモート管理用ネットワークにデバイスを接続できます。管理ポート(mgmt0)は、自動検知であり、1000 Mb/sの速度の全二重モードで動作します。

## ポートチャネルインターフェイス

ポートチャネルは、複数の物理インターフェイスを集約した論理インターフェイスです。最大8の物理ポートへの個別リンクを1つのポートチャネルにバンドルして、帯域幅と冗長性を向上させることができます。ポートチャネリングにより、これらの物理インターフェイスチャネルのトラフィックをロードバランスさせることもできます。ポートチャネルインターフェイスの詳細については、「ポートチャネルの構成」のセクションを参照してください。

## ループバックインターフェイス

仮想ループバックインターフェイスは、常にアップ状態にあるシングルエンドポイントを持つ仮想インターフェイスです。パケットが仮想ループバックインターフェイスを通じて送信されると、仮想ループバックインターフェイスですぐに受信されます。ループバックインターフェイスは物理インターフェイスをエミュレートします。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。